

平成30年度 豊橋商工会議所 事業計画

【基本方針】

● **成長ステージに応じた企業の挑戦・改革を全面サポート**

● **連携力最大化を図り地域経済の活力強化を促進**

【第22期 運営理念】（平成28年11月～平成31年10月）

イノベーションによる価値創造で、輝く企業と豊かな地域の実現へ



【行動方針】

- **商工業者の最も身近で頼りになる成長支援機関となる**
- **魅力にあふれ、持続可能な地域づくり・人づくりに貢献する**
- **多様な連携の中核を担い、総合力発揮のエンジンとなる**

【取り組みの現状】

- ー調査事業ー
- 豊橋市景気動向調査、中小企業景況調査、LOBO（早期景気観測）調査
- ー政策提言・要望活動ー
- 浜松三ヶ日・豊橋道路、名浜道路、三遠南信自動車道、東三河縦貫道路、東三河環状線等の整備促進
 - 三河港の整備促進
 - 設楽ダム建設促進
 - 愛知県・豊橋市への要望

- 【課題認識】
- 変革する社会や経営環境に即した当所事業活動の再構築が求められている。
 - ビジネス環境向上につながる社会資本や産業政策を実現する提言により、地域の魅力を増進する必要性。
 - 情報発信力が弱く、伝達度や双方向性に乏しい。

I .地域や会員のニーズに基づいた要望・提言活動の展開と情報発信力の強化

《地域や会員の課題解決を果たすため、ニーズや実態を細やかに調査・分析し、次代を見据えた産業基盤の整備や中小企業の持続的成長などに資する提言・要望を展開するとともに、事業活動に見える化するプロモーション活動を推進する》

- 1) 地域経済動向や会員等のニーズの的確な把握・分析
 - ①景況や経済動向に関する調査
 - ②経営課題やニーズ把握に関する調査 **新規**
- 2) 地域や会員の課題解決に向けた政策提言・要望活動
 - ①中小企業対策・規制緩和・税制等に関する提言・要望 **充実**
 - 経営支援プラットフォームの構築
 - ②産業政策・地域開発・まちづくりに関する提言・要望
 - ③三河港の整備と利用促進に関する提言・要望 **充実**
 - 港湾計画改訂を見据えた三河港の将来ビジョンの策定
 - ④広域幹線道路網整備や地域公共交通に関する提言・要望 **充実**
 - 官民連携による広域幹線道路ビジョンの策定
- 3) プロモーション活動による情報発信力の強化
 - ①各種媒体を活用した会員事業所のPR支援 **充実**
 - プレスリリース事業における掲載率向上
 - ②「プロモーション委員会」による存在価値の見える化の展開 **充実**
 - 会報誌・HP・メールマガジンのリニューアル

【主な取り組みと達成目標】

- **経営支援プラットフォームの構築に関する提言**
中小企業に対する地域全体としての個社支援機能の強化を図るため、行政や関係支援機関との連携協調体制の再構築に向けた政策提言を行い、**年度内の実現を目指す。**
- **官民連携・広域連携による産業基盤に関するビジョンの策定**
・平成30年代前半を目標年次とした港湾計画の改訂を見据え、東三河広域経済連合会として三河港及び臨海部の将来像を描くビジョンを**年度内に策定する。**
・三河港や工業団地など、産業物流拠点を広域的に支える東三河の幹線道路ビジョン策定を**年度内に着手し、来年度末の完成を目指す。**
- **プレスリリース支援事業などによる会員事業所のPR支援**
会員事業所の市場開拓を狙ったメディア露出をサポートするプレスリリースサービスについて、リリース内容のブラッシュアップ支援を強化するとともに、配信先の拡充を図り、**支援件数29件以上、掲載率80%を目指す。**
- **当所広報媒体のリニューアルなど情報発信力の強化**
「プロモーション委員会」の答申に基づき、当所広報媒体のリニューアルを**年度内に実施**するとともに、効果的なプロモーション活動により、**広く存在価値の見える化を図る。**

【取り組みの現状】

- ー中心市街地活性化ー
- 豊橋ひろこうじ歩行者天国
 - とよはしキラキラ☆イルミネーション
- ーものづくり産業振興ー
- 東三河産業創出協議会（三遠南信商談会、ものづくり博企画検討、技科大研究室訪問事業など）
- ー観光振興ー
- 炎の祭典（来場者 58,000人）
 - ええじゃないか150周年記念サミット

- 【課題認識】
- 中心市街地を中心に商業関連の事業所減少が顕著。
 - 地域の工学系大学における研究テーマやシーズなどが地元企業に認知されていない。
 - 地域固有の観光資源を磨き上げ、国内外の来訪者増大につなげたい。

II .地域経済の活力強化を果たす産業再生

《地域活性化を面的かつ複合的に促すため、改革や挑戦を念頭に置き、販路拡大や需要創造、交流人口拡大に繋がる取り組みを先導する》

- 1) 中心市街地活性化と商業振興
 - ①魅力ある商品開発に繋がる商業・サービス事業者への支援 **新規**
 - 会員ネットワークを活用したテストマーケティング事業
 - ②中心市街地へ人を呼び込む各種まちなかイベントの再価値化
 - ③共通駐車券や空き店舗対策など(株)豊橋まちなか活性化センター事業の支援
- 2) ものづくり産業の振興
 - ①ものづくり博2018in東三河の開催
 - ②マッチング機会創出に向けた、企業見学会・交流会、商談会の開催
 - ③豊橋技術科学大学など一体となった産学官連携の推進 **充実**
 - 新たな事業創造を図る大学等の研究シーズとのマッチング
- 3) 観光地域づくりの推進とブランディング
 - ①炎の祭典のリニューアルを含む手筒花火のブランド化 **充実**
 - ②豊橋観光コンベンション協会とタイアップした着地型観光による誘客促進

【主な取り組みと達成目標】

- **会員ネットワークを活用したテストマーケティング事業**
新商品・サービスの市場投入リスクを低減するため、試験販売などで消費者の反応を見るテストマーケティング事業を会員ネットワークを活用し、業種・業界の枠組みを越えて展開する。初年度となる平成30年度は、試行段階として**3件以上の支援を目標とし、次年度6件以上、次々年度12件以上を目指す。**
- **新たな事業創造を図る大学等の研究シーズとのマッチング**
当所経営指導員をコーディネイト役として、事業所の技術課題（ニーズ）と大学の技術テーマ（シーズ）のマッチングを図り、新製品開発、売上増加に繋げる。平成30年度は、**5件以上、次年度10件以上、次々年度15件以上の支援を目指す。**
- **ものづくり博2018in東三河の開催**
テーマ：東三河の「ものづくり」が“超絶”スゴい！
目的：東三河のものづくりの魅力発信と人財育成
会期：6月15日（金）～16日（土）
小間数：150小間
目標来場者数：20,000人

【基本方針】

- **成長ステージに応じた企業の挑戦・改革を全面サポート**
- **連携力最大化を図り地域経済の活力強化を促進**

【取り組みの現状】

※下線の数値は第3四半期末実績

— 個社支援事業 —

- ・巡回・窓口相談 / 1,156件
- ・マル経融資 / 25件・15,420万円
- ・専門家派遣 / 34件
- ・補助金申請支援 / 45社
- ・事業承継診断 / 41件
- ・創業支援 / 相談件数 204件・新規創業者数 19件
- ・合同企業説明会等 / 6回開催、企業702社、学生数 1,270名
- ・人材育成セミナー・講習会 / 30講座開講・1,116名
- ・無料職業紹介所 / 斡旋26名・採用11名

— 会員サービス事業 —

- ・会員数 / 5,497会員
- ・生命共済保有口数 / 8,468口

【課題認識】

- ・廃業が創業を上回り、事業所数が減少傾向にある。
- ・事業承継、事業再生、IoT導入など、経営課題が複雑化・高度化。
- ・人材不足・確保難の深刻化が一層顕著に。
- ・会員満足と組織財政基盤強化を実現する収益事業の拡充が必要。

【取り組みの現状】

- ・東三河振興に向けた主要プロジェクトの推進
- ・“地域の絆”情報交換・商談会 / 参加170社・商談250件
- ・東三河DMO研究会WGの設置
- ・三遠南信 新連携ビジョン策定始動
- ・三遠南信サミットin遠州の開催
- ・ビジネスパーク開催（春・秋） / 講師数259名・派遣校21校・参加生徒 3,415名

【課題認識】

- ・域内の行政・各種機関が、個別に類似事業を展開し、リソースやノウハウなどの総合化が図られていない。
- ・異分野連携によるアウトプットとして新たな産業創造に繋がっていない。

Ⅲ. 中小・中堅企業に対する個社支援と会員サービスメニューの充実化

《専門家や支援機関との実効的な連携を図り、事業承継や創業・成長・働き方改革など企業のイノベーションに伴走型で寄り添い、経営力向上を支える。また、人材確保やIT化、健康経営など会員事業所の問題解消実現を推進する》

1) 企業の成長ステージに応じたきめ細かな伴走型支援

- ① 第2期 経営発達支援計画の推進
- ② ビジネスサポートセンターの相談支援機能の強化 **充実**
 - 創業支援・事業承継支援・販路拡大マーケティング支援・IT化支援
 - 専門家や支援機関を活用した一気通貫型支援
- ③ 財務診断・企業ドックによる経営実態の分析と課題把握
- ④ 新たな成長を後押しする経営計画作成や各種補助金申請の支援
- ⑤ 消費税の価格転嫁および軽減税率の円滑な導入対応支援

2) 人口減少社会に対応した生産性向上・業務効率化・人材確保育成支援

- ① 労働生産性向上や業務効率化を図るIT・IoT活用支援 **新規**
 - IT・IoT活用を学ぶセミナーによる掘り起こしと導入実践への相談支援
- ② 多様なセミナー・講習会・検定試験等を通じた高度な人材育成・能力開発
- ③ 学生就職情報センターや無料職業紹介所による人材確保・採用支援 **充実**
 - 就活生の目線に立った、学生就職NAVIや就活読本、合同企業説明会などの展開
- ④ 中小企業の雇用安定を図る労働保険事務組合への加入促進

3) 現場の課題やニーズに立脚した会員サービスメニューの構築

- ① 交流連携の促進による部会事業の活性化
- ② 経営安定や従業員の福祉向上に繋がる健康診断事業や共済・保険制度の推進
- ③ 従業員の健康増進を通じて経営力向上を図る「健康経営」の普及啓発 **新規**
- ④ 「組織改革検討委員会」による当所運営活性化の研究検討
- ⑤ 組織基盤の確立・会員増強、貸会議室の利用促進、生命共済の拡販 **充実**

Ⅳ. 地域や分野・業種の界を越えた連携による地方創生

《多種多様な連携の中核を担い、地域が持つリソースの総合化、潜在的な強みの最大化を実現し、新産業・新ビジネス創造や魅力ある地域づくりを進め、地方創生を加速させる》

1) 産学官連携、農商工連携、医療・教育分野との連携による地域産業の活性化

- ① 農商工連携による産業分野の枠組みを超えた新たなビジネス創造 **充実**
- ② 豊橋技術科学大学や豊橋市国際交流協会と連携した国際人材の定着・活用の促進
- ③ ビジネスパークなど将来の地域と企業を担う人材育成の推進

2) 広域連携（東三河・三遠南信）による地域課題の解決

- ① 東三河県庁、東三河広域経済連合会、東三河広域連合との連携強化
- ② 近隣の商工会議所・商工会と連携した広域的な中小企業支援や人材確保の推進
- ③ “地域の絆”情報交換・商談会など多様なマッチング機会を通じた販路・取引先開拓の促進 **充実**
- ④ 東三河DMOの設立に向けた研究検討
- ⑤ 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）を通じた産業振興等の推進
 - 新ビジョン策定と重点プロジェクトの推進
 - 三遠南信サミット2018in東三河の開催

【主な取り組みと達成目標】

■ きめ細かな伴走型支援による相談支援の展開

- ・経営課題の把握と相談対応 / 巡回・窓口相談 : **1,560**件
- ・創業ゼミなど創業支援策の積極展開 / 創業相談支援件数 : **250**件、新規創業数 : **25**件
- ・成長ステージへ引き上げるWEB対応等を通じた販路拡大・マーケティング支援の充実 / 支援件数 : **50**件
- ・補助金申請支援件数の拡大と採択率向上 / 支援件数 : **100**件、目標採択率 : **60.0%**以上

■ 経営課題の複雑化・高度化に対応した相談・支援機能強化

- ・事業承継やIT化など重点支援分野を拡充した専門家ネットワーク構築による相談機能強化 / 専門家派遣件数 : **60**件
- ・「あいち事業承継ネットワーク」との連携や事業承継計画策定を通じた、円滑な事業承継の支援 / 相談支援件数 : **20**件
- ・生産性向上を実践的に解決するIT化・IoT導入支援の積極対応 / 相談支援件数 : **50**社

■ 人材確保・採用支援の充実化

- ・合同企業説明会への就活生参加の促進 / 参加企業1社あたりの接触学生数 : 説明会1回につき**10**人以上
- ・無料職業紹介所や専用サイトを通じ、中途採用支援の強化

■ 企業価値を高める「健康経営」の普及啓発

- ・協会けんぽ等と連携し、健康宣言などに取り組む企業を拡大する / 健康宣言企業増加数 : **100**社

■ 組織・運営基盤の確立と収益事業の強化

- ・組織基盤強化に向けた**新規200**会員の加入促進
- ・加入者満足と商品力向上を図る「生命共済制度」の改革
- ・利用者ニーズに対応した「**3階特別会議室**」のリニューアル

【主な取り組みと達成目標】

■ 農商工連携による新たなビジネス創造

- ・豊橋技術科学大学やIT農業ネットワークなどと連携し、優れた農産物の生産者と製造業・流通業・サービス業・金融業などを結びつけ、**6次産業化**や**流通・販路の拡大**、**新農業ビジネスの創造**を目指す。

■ “地域の絆”情報交換・商談会の拡充開催

- ・東三河地域を中心とした、販路拡大や取引先開拓を目的としたマッチング事業「“地域の絆”情報交換・商談会」について**広域化を視点においた拡充開催**を図る。

■ 東三河DMOの設立に向けた研究検討

- ・東三河の多様な観光資源を磨き上げ、明確化した国内外のターゲットに向けて情報発信を行う「**東三河DMO**」の設立を目指し、愛知県や広域連合、広域観光協議会などとともに研究検討を継続する。